

## 令和7年度 運営方針 評価表

4:大いに達成できている    3:達成できている    2:あまり達成できていない    1:全く達成できていない

1. 質の高い教育実践の維持に努め、継続して教員の教育実践能力の向上に取り組む。	自己評価	他者評価
1) 実習科目における教育の充実性に重点を置いた研究授業（5回/年）の実践	3.0	3.2
2) 研究計画書に則った研究の実施及び研究成果（3題/年）の発表	4.0	4.0
3) 実習指導者をはじめ病棟との連携を強化し、実習指導の充実を図る	3.0	3.8
<b>総 評</b> 1) 研究授業を3回実施し、学生の評価も高い。 学生の感想から学びのある研究授業が実施されていたと感じました。 研究授業の実施は3回ということでしたが、それぞれについての他者評価が高く十分に達成できていると感じました。 2) 臨床との共同研究は、指導する側も自分たちの看護や指導を振り返るとても良い機会をいただいたのだと思います。 研究成果の発表4題、共同研究者としての発表5題あり、目標を上回っている。 3) 実習指導者が学生指導中に意識していることの研究成果を活かし、指導者と学生との共有につなげ、指導の充実に取り組んでいると思った。 計画的に教育活動が展開されてこれたと感じました。 実習指導の充実については、実習指導者等との情報共有をはじめ連携を密にして、十分に成果をあげているものと考えます。		

2. 病院経営に対する意識を高めつつ、附属養成所としての安定した学校運営を図る。	自己評価	他者評価
1) 協働できる職場づくり	3.0	4.0
2) 教員の管理能力の育成と支援	4.0	4.0
3) 学生個々の状況にあわせた個別相談や学習支援で、3年生全員が単位修得し卒業できる	4.0	4.0
4) 病院フェスタへの参画と病院職員との協働	3.0	3.6
5) 適正な物品請求と消耗品管理	3.0	3.2
6) 防災訓練の実施と学生・教職員の通信訓練100%を目指す	4.0	4.0
<b>総 評</b> 1) 自己評価が3になっている。2項目昨年より低下しているが、数値としては微細な低下であり、その他のアップ率が高く4と評価した。 2) 看護管理者研修2名受講、母体病院看護部の委員会活動の参画、特定行為研修指導者としての活動など、教員としての経験を活かし、教育的役割を担っている点は素晴らしいと思った。 3) 学生個々の特性を十分把握し、主体性を支援していることは高く評価できる。 学生さん個々のやり取りの様子をお聞きする中で、良い職場という環境が良い影響を与えているのではないかと感じました。 学生個々への対応ができていたからこそ大きな問題を抱える学生がいなかったと思います。 6) HUGゲームを取り入れ、共に学び合う機会を持っていることは高く評価できる。 病院フェスタや防災訓練など関係者との連携等も大切にされていると思います。  ・安定した学校運営が本年度もされたことが資料からも読みとれました ・病院附属看護学校の最終年度の取り組みとして十分目標を達成している。		

3. 国立病院機構及び地域社会に貢献できる人材の育成とキャリア支援を行う。	自己評価	他者評価
1) ホームページの即時更新、学校の取り組みの情報発信	3.0	3.6
2) 母院への就職率：30%、機構への就職率：50%、県内就職率：50%以上を目指す	4.0	4.0
3) 国家試験対策の強化を目指し、早期からの段階的な取り組みで合格率100%を目指す	3.0	3.4
4) 教員各自の専門性を活かし、母体病院を含む国立病院機構及び地域社会への貢献	4.0	4.0
5) 卒業生が継続的に働けるための支援	2.0	2.6
<b>総 評</b> 1) インスタグラムはやはり見せ方が上手だと感心しています。 2) 実習指導者会議を開催するなど、母体病院との共同体制が確立していることが、就職率につながっていると考えます。 3) 国家試験へ取り組む姿勢等も含め、ご本人の高い意識と先生方の熱心な関りが良い人材育成につながっているのだろうと思います。 国試対策も早くから手厚く取り組まれており、学生の自発性を促進する工夫もされていて学生がうらやましく思います。 学生の主体性を重視した国家試験対策は、日頃からの学生さんとの信頼関係の中で実施できていることであると思う。 5) 卒業生が継続的に働けるための支援は、これまで築かれた学生間・先輩後輩及び教職員、母体病院、実習施設など関係者との信頼関係の上に成立し、継続できるものと考えます。 卒業生への支援はどこも悩んでいると思いますが、その中で特別講義を行うなど努力していると思った。  ・多様な取り組みによる人材育成とキャリア支援をされたことがわかりました。 ・前年度と比べて達成率が上昇している様子は高く評価できると思います。		

## 令和7年度 運営方針 評価表

4:大いに達成できている    3:達成できている    2:あまり達成できていない    1:全く達成できていない

4. 学生が相互に思いやり、助け合える良識ある社会人となるよう育成する。	自己評価	他者評価
1) 学生間・学生 - 職員間の交流と日頃の雑談を大切にした環境づくり	4.0	4.0
2) 学校安全管理に取り組み、学生や職員が安心して学べる環境づくり	3.0	3.8
<p>総 評</p> <p>1) 雑談の中でも人としての関わり方を大切にしていると感じました。「その言い方はちょっと」と言い合える関係性も素晴らしいと思います。本分校への実習で来られた学生さん達も、児童生徒だけでなく教職員ともしっかりとコミュニケーションをとって下さり、私たちもその姿に学ぶことが多くありました。一学年しかいないため、上下の関係性では得るものがなかったと思うが、一学年だからこそ目が行き届き学生も見てくれていると感じる機会が多かったと思う。</p> <p>学生間・学生-職員間の交流と日頃の雑談を大切にし、学生の悪い点も含め、その場でフィードバックできる関係性を築いていることは高く評価できる。</p> <p>2) 学生間・学生-職員間の信頼関係を築き、心理的安全性を高める取り組みができています。</p> <p>・資料全体をとおして学生にとって、安心して学び通える学び舎であることが伝わってきました。学生の方々の満足度も高かったと感じます。</p>		

5. 閉校に向けて計画的に準備し、実行する。	自己評価	他者評価
1) 閉校記念誌の発行計画に則り、実行する	4.0	4.0
2) 閉校記念式典計画に則り、実行する	4.0	4.0
<p>総 評</p> <p>・時代の波、そして節目であろうかと思いますが寂しくも感じます。本当にご苦勞様でした。</p> <p>・リーダーシップをとって計画とおりに実施してくれています。ありがとうございます。</p> <p>・閉校に向けて、丁寧な取り組みをされている。通常の業務に加えて、閉校の事務処理等の対応が必要な状況で、計画どおりに様々な準備を整えられたことは大いに評価できる。ご苦勞様でした。</p> <p>・閉校に向けて、着実に進めている。閉校にあたり自校の実践を他校と共有できる仕組みを作ったことは高く評価できる。</p>		